

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	1062	指導者育成事業	会計	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合いすべての人の人権を尊重する	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	03	同和教育費
担当部課名	青山文化センター		細目	101	指導者育成経費
作成者氏名	奥永悦子	連絡先	細々目	01	指導者育成経費
		55-2411			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	同和地区住民	差別に立ち向かう力を高め、差別の解消に取り組む人材や組織が育っている。				
本年度事業内容	教育集会所において人権・同和教育の指導、生活講座、識字教室、ワープロ教室、習字教室を実施する。 地区の住民の解放に向けた取り組みを社会同和指導員が指導助言する。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,449	2,457	2,457
報酬	2,185	2,186	2,186
共済費	264	259	259
旅費		12	12
その他			
合計(A+B)	3,169	3,177	3,177
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,169	3,177	3,177
上記①～③に関する特記事項	社会同和指導員 1名		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
講座等の参加者の数	人	275	288	302			
講座等の回数	回	106	110	110			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
講座等の参加者数	多くの人が参加することで地域住民の解放に向けた取り組みへの意欲が高揚する。	人	275 目標 ()	288	302
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

参加者の固定化、高齢があつて新しい広まりに至っていない。次世代が積極的に参加できるような工夫が求められている。内容や開催時間を工夫し継続する。

評価	必要性	4	地区住民の高齢化や健康的な側面から参加者が増加していないが、参加者からは事業の内容について評価を得ている。今後も事業内容を工夫し引き続き実施する。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	2		